【 検査 】

449 CEA（CEA高値）の算定について

《令和7年2月28日》

○ 取扱い

CEA高値に対するD009「3」癌胎児性抗原（CEA）の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

腫瘍マーカーに関する厚生労働省通知^{*}には「悪性腫瘍の患者であることが強く疑われる者に対して検査を行った場合に、悪性腫瘍の診断の確定又は転帰の決定までの間に1回を限度として算定する」と示されている。

また、血清CEA値は、がんの進行・進展を反映することより、種々のがんにおける治療効果や進展度のモニタリングの指標として有用である。ただし、一方で健常者、糖尿病、良性疾患患者でも陽性となる場合がある。したがって、「CEA高値」の傷病名のみでは、上記の通知内容に該当するとは言えず、その算定は適切ではない。

以上のことから、CEA高値に対するD009「3」癌胎児性抗原（CEA）の算定は、原則として認められないと判断した。

（※）診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について